

インフォシス、最高経営責任者にビジュアル・シッカを任命

バンガロール(2014 年 6 月 12 日) : インフォシス取締役会は、最高経営責任者にビジュアル・シッカを任命したと発表しました。シッカは 2014 年 6 月 14 日付で常勤取締役兼最高経営責任者に就任し、2014 年 8 月 1 日付で S. D. シブラルから最高経営責任者の役職を引継ぎます。

さらに 2014 年 6 月 14 日付で U.B. プラビン・ラオ事業部長兼常勤取締役が最高執行責任者に就任します。

ビジュアル・シッカは最近まで SAP 社の取締役として全世界の製品およびイノベーションの開発に従事し、グローバル企業のリーダーと協力して画期的なビジネス・ソリューションを構築してきました。SAP 社では、従来型アプリケーションやクラウド・ベースのアプリケーション、さらに HANA、アナリティクス、モバイル、ミドルウェアなどテクノロジーやプラットフォームに至るまで全ての製品開発を担当し、複数のイニシアチブの責任者として SAP 社におけるイノベーションと研究開発の促進に貢献してきました。米国のスタンフォード大学コンピューター・サイエンスの博士号を取得しています。

シッカは就任にあたって、次のように述べています。「テクノロジー業界のパイオニアによって設立された象徴的な会社であるインフォシスの最高責任者に就任することは非常に光栄です。これから世界中の優秀なインフォシス社員と一緒に働き、彼らから学ぶ機会を楽しみにしています。コンピューティング・テクノロジーは、あらゆる職業や業種の未来を形作るものです。インフォシスは、お客様、従業員、投資家、その他ステークホルダーに大きな価値をもたらす画期的なソリューションを提供できるユニークな機会を持っています。今回の就任にあたって、私をご指名頂いたインフォシス指名・統治委員会、カマス氏、ムルティ氏、取締役会に心から感謝いたします。」

その他、取締役会では以下の役員変更が発表されました。

- N.R.ナラヤナ・ムルティと S. ゴパラクシュナンは、それぞれ経営執行役会長と上級副社長を 2014 年 6 月 14 日付で辞任しますが、責任の引継ぎを円滑に遂行するため、非常勤会長と非常勤上級副社長として 2014 年 10 月 10 日まで取締役にとどまります。
- K. V. カマスは 2014 年 10 月 11 日付で非常勤会長に就任します。
- ムルティは、インフォシスへの功績が認められ 2014 年 10 月 11 日付で名誉会長に就任します。
- S. D. シブラルは 2014 年 7 月 31 日付で経営最高責任者および取締役を辞任します。
- 常勤取締役のスリナート・バトニは、2014 年 7 月 31 日付で取締役を辞任します。
- さらに 12 人のリーダーが上級副社長に就任します。

経営執行役会長室は 2014 年 6 月 14 日付で解体され、経営執行役会長と一緒に役職を解かれるロハン・ムルティは同日付でインフォシスを退職します。会長室の残りのメンバーは社内の別の役職に就く予定です。

「新しい最高経営責任者にビジュアル・シッカが選ばれたことを喜ばしく思います。」と N. R. ナラヤナ・ムルティは述べています。「ビジュアル・シッカは、大手グローバル企業のトップとしての価値ある経験を持っています。彼の輝かしい実績と価値体系はインフォシスのリーダーとして最適です。インフォシスの全社員を代表して、ゴパラクシュナン、シブラル、バトニの貢献に感謝の意を表したいと思います。」

さらに続けて次のように述べています。「当社のお客様、取締役会の役員、現社員および元社員、投資家、メディア、当社の支持者の方々に対し、これまでのご支援および激励について心からお礼を申し上げます。また、インフォシスに復帰した在職期間中に素晴らしいサポートをしてくれた会長室のメンバー、最高財務責任者、最高人事責任者に対しても感謝したいと思います。」

社外取締役兼指名・統治委員会会長の K. V. カマスは次のように述べています。「委員会は著名なグローバル・エグゼクティブ・サーチ会社の支援のもと厳格な選定プロセスを採用しました。ビジュアルは、技術力と商才

を兼ね備えた非常に稀なリーダーです。委員会はビジュアルをサポートして、グローバル・テクノロジー業界における当社のリーダーシップを強化していく所存です。」

S. ゴパラクリシュナンのコメント。「取締役会が、テクノロジーを活用してビジネスの競争力を高めることを実証してきた思想的リーダーを選んだことを喜ばしく思います。ビジュアルの今後の活躍を祈っています。」

S. D. シワラルのコメント。「取締役会、従業員、投資家の皆様には、長年にわたってご支援いただき、心より感謝しています。ビジュアルは、さらなる高みに引き上げてくれるビジョンと能力をインフォシスにもたらしてくれると思います。」

スリナート・バトニのコメント。「インフォシスで過ごした年月は人生で最も充実した時であり、これからも懐かしく思い出すごでしょう。ビジュアルの就任によって、インフォシスは未来に向かって大胆に歩んでいけるでしょう。」

インフォシスは、2014 年 6 月 12 日午後 12 時 30 分(インド時間)、バンガロールのエレクトロニクス・シティの本社にて記者会見を行います。

また 2014 年 6 月 12 日の午後 6 時(インド時間)に投資家アナリスト向け電話会議を開催します。投資家向けダイヤル・イン情報は、本日、インフォシスの IR ウェブ・サイトに掲載される予定です。

インフォシスについて

インフォシスはビジネス コンサルティング、テクノロジー ソリューション、アウトソーシング ソリューションのグローバルリーダーです。当社は 30 か国以上の国々のお客様が最新のビジネス トрендよりも一歩先を進み、競合他社をしのぐ活躍ができるように支援を提供します。また、戦略的インサイトと卓越した実行力を融合させた革新的なソリューションを共同創造することで、お客様が移り変わりの激しい世界に対応し、成長できるようにサポートします。

www.infosys.com を訪れ、年商 82.5 億ドル、従業員数 16 万人以上のインフォシス(NYSE: INFY)が今日どのように未来企業を構築しているかお確かめください。

セーフハーバー条項

本リリースに掲載されている報告書の一部は、1995 年私募証券訴訟改革法の「セーフハーバー」条項の適用を意図した当社の将来的な成長を予測するものであり、多くのリスクや不確定要素が介在しているため、実績と大きく異なる場合があります。このようなリスクと不確定要素には、収益や外国為替相場の変動、当社の成長管理能力、費用効率に影響する可能性のある IT サービス分野における競争の激化、インドにおける人件費の高騰、高い技能をもつ専門的な人材を確保する当社の能力、固定価格・固定時間による契約における時間や経費の超過、顧客の集中化、出入国制限、業界セグメントの集中化、国際業務を管理する当社の能力、当社の主力分野であるテクノロジーの需要低下、通信ネットワークの崩壊あるいはシステムの故障、企業買収を成功させる当社の能力、当社サービス契約に対する損害賠償責任、戦略投資した企業の業績、政府援助の打ち切り、政治不安および地域紛争、インド国外での増資・企業買収に対する法的制限、当社知的所有権の不正使用、この業界に影響を与える経済情勢などが考えられます。当社の将来的な業績に影響すると思われるその他リスクについては、2013 年会計年度(2014 年 3 月 31 日付)年次報告書(Form 20-F)と 2013 年第 3 四半期(2013 年 10 月 - 12 月期)(Form 6-K)を含め、米国証券取引委員会へ提出された当社報告書に詳細に記載されています。これらの報告書は、www.sec.gov でご覧いただけます。インフォシスは、米国証券取引委員会や当社株主への報告書など、書面および口頭により将来の展望を適宜発表する場合があります。また、ここに記載された将来の展望は、冒頭に記載された本プレスリリースの日付時点において妥当と思われる想定に基づいていることをご了承ください。当社は、法律により義務付けられている場合を除き、随時発表する将来の展望について更新する義務を負わないものとします。

お問い合わせ
日本支店 マーケティングマネージャ
安藤 穰
03-5545-3257
jo_ando@infosys.com